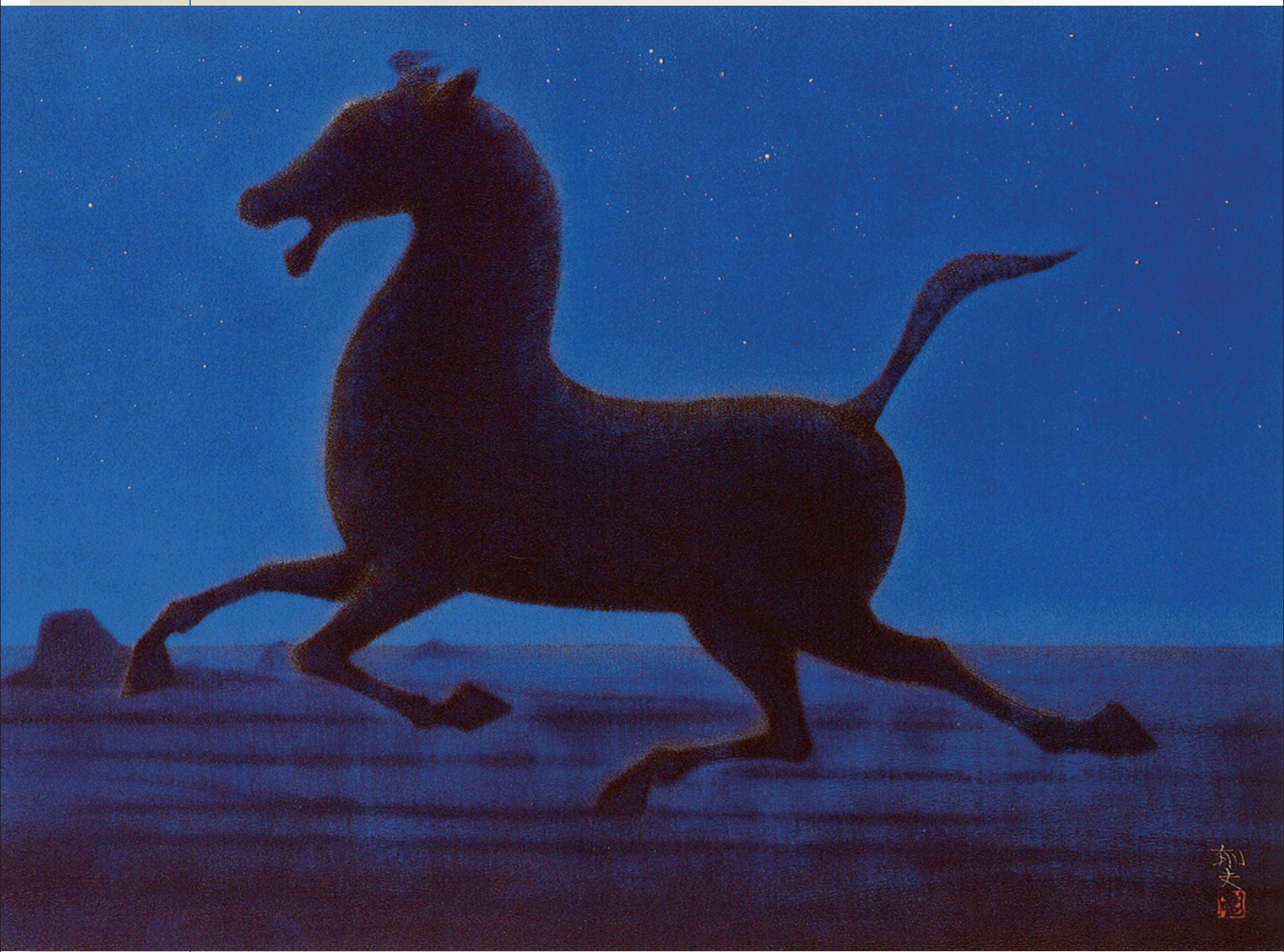


東アジア文化都市2025鎌倉市 特別企画展

平和への祈りー

平山郁夫 Desire for Peace —Hirayama Ikuo



平山郁夫

平山郁夫《西域の馬》1978年 高德院蔵

2025 11.5_{wed}—13_{thu}

会場：鎌倉芸術館 ギャラリー1

JR 大船駅東口・笠間口から徒歩約10分

会期中無休 開室時間＝10:00－18:00（入室は17:30まで） 観覧料＝無料

主催：

東アジア文化都市2025鎌倉市実行委員会

協力：



平山郁夫シルクロード美術館
HIRAYAMA IKUO SILK ROAD MUSEUM

平山郁夫
シルクロード美術館



東アジア文化都市
2025 鎌倉市



東アジア文化都市
2025 鎌倉
アート&フェスタ
KAMAKURA ART FESTIVAL

平和への祈り— 平山郁夫

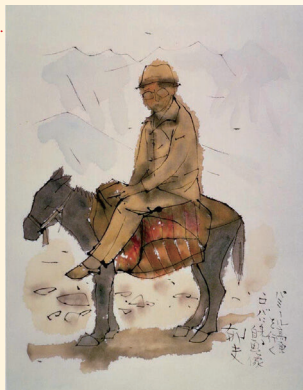


①平山郁夫《楼蘭遺跡を行く・日》2005 年

東アジア文化都市 2025 鎌倉市の特別企画として、日本画家・平山郁夫の歩みを紹介する展覧会を開催します。平山は、文化財保護や文化交流に力を注ぎ、とくに中国をはじめとする東アジア諸国との絆を大切にしてきました。本展では、鎌倉で育まれた平山の画業の背景や、シルクロードを描いた作品を通して、文化を通じた交流の大切さをご覧ください。鎌倉で暮らした平山が絵筆に託した「平和への祈り」を、この機会にぜひご確認ください。



②平山郁夫《原爆ドーム》1991 年



③平山郁夫《バミール高原を行く
ロバに乗る自画像》1991 年

「道遙か」—

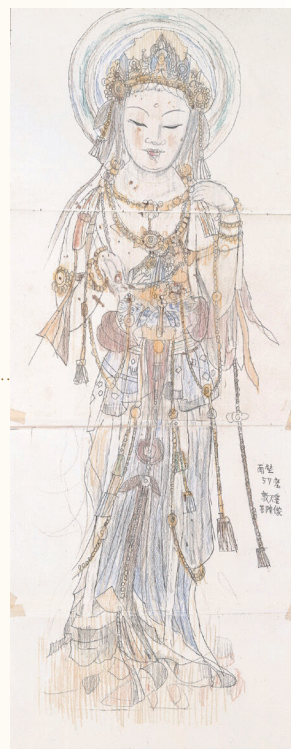
素描でたどる平山郁夫の半生

平山郁夫がいかにして日本画家となり、シルクロードの画家となっていたのか、自らの半生を振り返りながら描いた素描とともにご覧いただけます。

①～⑦はいずれも

平山郁夫シルクロード美術館蔵（山梨県北杜市）

④平山郁夫《敦煌石窟九層楼》2007 年



⑤平山郁夫《敦煌菩薩像 57窟南壁》
1999 年

シルクロード紀行 そして中国との交流

シルクロードの中でもとくに中国を題材とした作品と、夫妻で収集したコレクションを中心に、鎌倉市の友好都市、敦煌市の莫高窟で取り組んだ文化財保護活動の軌跡をたどります。



⑦平山郁夫《楼門の春 鎌倉》1979 年



⑥平山郁夫《鶴岡八幡宮 鎌倉》
1979 年



鎌倉での足跡

平山郁夫は1972(昭和47)年、鎌倉市二階堂に移り住み、この地で制作活動を行ってきました。鎌倉市とのかかわりや鎌倉の風景を描いた作品をご紹介します。

ギャラリートーク(30分程度)

本展の担当者が見どころや展示作品の解説を行います。

○11月5日(水) 16:00 ～

○11月9日(日) 14:00 ～

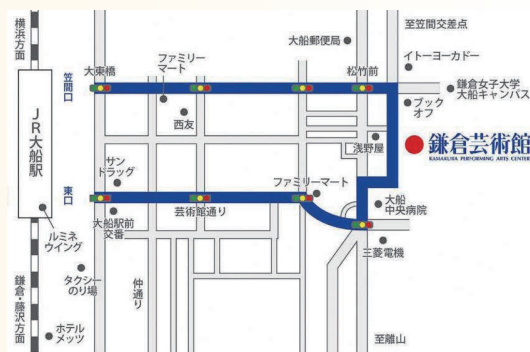
東アジア文化都市とは……

日本・中国・韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市を選定し、その都市において、現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するものです。これにより、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることを目指します。

問合せ先: 東アジア文化都市 2025 鎌倉市実行委員会 事務局（鎌倉市東アジア文化都市事業担当内）
Tel. 0467-23-3000 E-Mail: east-asia@city.kamakura.kanagawa.jp

鎌倉芸術館

〒247-0056 鎌倉市大船 6-1-2 Tel. 0467-48-5500 / Fax. 0467-48-5600 <https://kamakura-kpac.jp>



【アクセス】鎌倉芸術館へは JR 大船駅東口・笠間口から徒歩約 10 分。大船駅へは JR 東海道線で横浜駅から約 15 分、品川駅から約 35 分。